

甲奴の山岡酒造

三次市甲奴町、山岡酒造の「瑞冠 純米吟醸山廃仕込 山田錦」が、全国の酒蔵が出品した燗酒コンテストで最優秀賞の燗酒大賞を受賞した。同酒造は、こ

わりの酒造りを続け、今後も本物の日本酒のおいしさを伝えたいと意気込みを新たにしている。(余村泰樹)

熟成「瑞冠」燗酒大賞に



燗酒大賞を受賞した酒やトロフィーを前に喜ぶ畑中さん(左)と山岡社長

手間かけ豊かな甘み

コンテストは10月24、25の両日、日本の伝統料理や食材を見つめ直すイベント「スローフードニッポン」の

一環として横浜市で開催。温めて酒を飲む日本独特の文化の素晴らしさを再確認する目的で、イベント実行委と酒文化研究所が初めて

企画した。

北海道から九州まで131の酒蔵が1点ずつ出品。1次審査で専門家が金賞32点を選び、2次審査はイベント会場で一般消費者が試飲して投票した。同酒造は合計でトップとなり大賞に選ばれた。

受賞した酒は2006年に仕込んだ熟成酒。飲み応えのあるしつかりとした味が特徴で、燗にすると軽やかに豊かな甘みが感じられるという。

「食事に合わせて、ゆっくりと飲んでもらえるのがうちの酒の特徴。手をかけて丁寧に酒造りしているので、熟成に向き、燗にしても味が崩れない」と山岡克巳社長(56)。杜氏の畑中裕次さん(37)は「一

般消費者から評価されてうれしい。芳醇辛口でしつかりとした余韻を残す酒を造り続けた」と意気込んでいる。